

遺伝子組換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する
法律に規定する第一種使用規程承認の申請に係る学識経験者の意見

1 第一種使用規程の承認の申請者、遺伝子組換え生物等の種類の名称及び第一種使用等の
内容

(1) 名称

スギ花粉ペプチド含有イネ (*7Crp*、*2mALS*、*Oryza sativa* L.) (*Os7Crp1*、*Os7Crp2*)

(2) 第一種使用等の内容

隔離ほ場における栽培、保管、運搬及び廃棄並びにこれらに付随する行為

(3) 申請者

国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 理事長 久間 和生

2 当該申請に対する意見

1 (1)に係る申請は、令和元年5月7日付けで承認された申請（以下「前回申請」という。）について、使用期間等内容を一部変更するものであり、以下の点について確認及び審査を行った。

(1) 使用期間の変更

前回申請において令和6年3月までであった使用期間を変更し、当該第一種使用等を再開するというものであり、特段の意見はなかった。

(2) 隔離ほ場の情報

前回申請について、ほ場の名称の変更（所在地は同一）や栽培履歴を更新するというものであり、特段の意見はなかった。

(3) 緊急措置計画書における実施体制の変更

人事異動に伴う一部変更があったが、引き続き、緊急措置の実施体制が取られるものであり、緊急措置計画書における実施体制の変更に対する特段の意見はなかった。

(4) 生物多様性影響評価書を踏まえた結論

上記内容以外、前回申請内容と特段の変更点がないことを踏まえ、本遺伝子組換えイネを第一種使用規程に従って使用等をした場合に生物多様性影響が生ずるおそれはないとした生物多様性影響評価書の結論は妥当であると判断した。

3 意見を聴取した学識経験者

(敬称略 50音順)

氏 名	現 職	専門分野
あ べ みつとも 阿 部 光 知	国立大学法人 東京大学大学院 総合文化研究科 教授	植物分子遺伝学
あ り え つとむ 有 江 力	国立大学法人 東京農工大学理事・副学長 大学院農学研究院教授（兼務）	植物病理学
い とう もとみ 伊 藤 元 己	国立大学法人 東京大学大学院 総合文化研究科 特任研究員	保全生態学
おさかべ ゆ り こ 刑 部 祐里子	国立大学法人 東京工業大学 生命理工学院 教授	植物育種学
か とう ひ さ し 加 藤 尚	国立大学法人 香川大学 農学部 名誉教授	有機化学 雑草学
き く ち あ き ら 菊 池 彰	国立大学法人 筑波大学 生命環境系 教授	植物生理学
しのはら け ん じ 篠 原 健 司	国立研究開発法人 理化学研究所 環境資源科学研究センター 研究嘱託	植物生理学
す や ま よしひさ 陶 山 佳 久	国立大学法人 東北大学大学院 農学研究科 教授	分子生態学
つじもと ひ さ し 辻 本 壽	国立大学法人 鳥取大学 名誉教授	植物育種学
よ し だ かおる 吉 田 薫	国立大学法人 東京大学大学院 農学生命科学研究科 特任教授	植物育種学 保全生態学
よ し だ さとこ 吉 田 聡 子	国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 教授	植物生理学